

平成26年度事業報告書

1. アミューズメントマシン産業に関する調査研究事業

(1) 電子マネーシステムの構築に関する調査研究

(ITネットワーク特別委員会・J A I A技術委員会)

ITネットワーク特別委員会では、アミューズメントマシン業界への電子マネーシステムの導入の可能性について継続して研究を行っている。

平成26年度も、日本アミューズメント産業協会（J A I A）技術委員会と合同で、新たな課金システムの検討・研究を行った。

具体的には、会員企業が大手宅配便事業者グループとの共同開発でアミューズメント業界向けに開発したマルチ電子マネーの実証実験に関する報告を受けた。

これによると、ゲームカテゴリによっては非常に電子マネーに親和性の高いジャンルが存在することや、利用者の利便性向上に繋がり易いことが見受けられ、使い方によっては店舗の売上げ増加に寄与する可能性があることが報告されている。

(2) 景品提供営業のあり方についての調査研究（AMプライズ部会）

AMプライズ部会では、平成26年4月から施行している「アミューズメント施設における景品提供営業のガイドライン」の理解促進に注力した。

本ガイドラインに関する啓蒙パンフレットを5月に作成し、会員及びオペレーターに配布したほか、「製品安全確保ガイドライン」と併せた雑誌広告掲載、ジャパン アミューズメント エキスポ（J A E P O）2015の出展社に対する周知などのガイドラインの普及に努めた。

また、平成25年度から実施している「適正景品マーク制度」に関しては、協会ホームページで業界内外に向け制度の周知を行い、安全で安心できる適正景品が普及するための活動を行った。

(3) AM機のリサイクルシステム構築に関する調査研究（3R部会）

循環型社会形成への適応を目指し、使用済みのアミューズメント機器の適正処理環境構築のため、業界全体の意識向上を目的とした啓蒙活動を実施した。

平成26年度は、3R部会でまとめた使用済みアミューズメントマシンの

適正処理に関するパンフレット「アミューズメントマシンの適正処理・リサイクルのルール」をテキストとして、リサイクル専門のコンサルタントを講師に招き、平成26年7月28日に広く業界関係者を対象とした3Rセミナーを開催した。

(4) 展示会のあり方についての調査研究（展示会事業部会）

現在、（一社）全日本アミューズメント施設営業者協会連合会（AOU）との共同主催により実施している「ジャパン アミューズメント エキスポ（JAEPO）」について、昨年、会期中に記録的な大雪に見舞われたこともあり、業界にとって最適な開催時期がいつなのかを中長期的な観点から検討を行っている。

平成26年度は、従来の出展社アンケートに加え、JAEPO2015の初日に来場された店舗営業者を中心とするビジネス来場者にも、開催時期についてのアンケート調査を実施した。

(5) 知的財産権確立に関する調査研究（調査情報部会-知的財産委員会）

会員の知的財産権が侵害された際、訴追に有利になるよう会員に表記を認めている「JAMMA」商標について、台湾における登録を完了した。

また、「ジャパン アミューズメント エキスポ（JAEPO）」の国内における商標登録に着手した。

なお、JAMMAでは会員の知的財産権の確立に資するため、国内特許・意匠等の登録出願の際に必要な上映証明、商標の使用証明等、証明書の発行を例年行っているが、平成26年度は証明書の発行申請はなかった。

(6) 規制の適正化に向けた調査研究（理事会）

アミューズメント業界の現状に対し、必ずしも適正でないと思われる各種規制の適正化に向け、「風適法研究特別委員会」において調査研究を行い、適正化を求める規制項目を取りまとめ、適正化に向けた法令案の原案作成を行うとともに、特別委員会において適正化すべき重点項目を絞りJ A I Aへの提案を行った。

これまでの活動の結果、平成27年1月に招集された第189回通常国会において、「保護者同伴時のAM施設入場時間規制緩和」を含む風適法改正案が提出された。

今後も引き続き、日本アミューズメント産業協会（J A I A）の活動を支援し、（一社）全日本アミューズメント施設営業者協会連合会（AOU）と協調して引き続き調査研究及び規正緩和に向けた取り組みを行う。

(7) AM機械の健全化・啓蒙に関する調査研究

(倫理部会-倫理審査委員会、倫理審査判定委員会)

倫理部会では、AM機の健全性を保ち、消費者に適切な娯楽を提供するため、機械の内容について定めた「健全化を阻害する機械基準」及び「同基準の運用規程」の運用を所掌するとともに、啓蒙のあり方について検討を行い、一層の健全化を推進するための活動を行った。

本基準及び同運用規程の啓蒙に関しては、JAEPO2015での出展品検査への協力などを通して業界内外への機械基準の周知徹底を図るとともに、マーク表示のない機械等不適当な機器についての情報を積極的に収集し、今後の適切な運用に向けて対応を行った。

また、基準の違反に対する罰則規定の強化に関して、検討を行った。

この他、会員の企画する新製品に対しアドバイスを行い、適切な製品の開発に協力した。

(8) AMの規制動向に関する調査研究

(倫理部会-倫理審査委員会、倫理審査判定委員会)

都道府県の行政による規制の執行状況や不適切な機械、営業に関して情報交換を行った。

(9) 遊園施設に関する調査研究

(遊園企画部会/遊園技術・安全部会-技術委員会)

国土交通省関係の平成26年度建築基準整備促進事業「遊戯施設の安全装置の要求性能等に関する検討」委員会に技術委員会委員が参加し、遊戯施設の安全装置の在り方について検討した。また、今後本件に関する関係法令の改正が行なわれる場合には、技術委員会において検討を行う。

2. AM産業に関する技術開発・標準化事業

(1) 関係法令等の検討作業への協力 (AM技術部会)

AM技術部会において、国の委託を受けて電気用品安全法など関係法令の検討作業を行う関係委員会への委員派遣及び検討作業に関する意見具申などの協力作業を行った。主な内容は下記の通り。

- ・電気用品安全法の性能規定化に対応するJIS開発・性能規定化WG(家電)会議への委員派遣及び検討作業への協力

- ・電気用品調査委員会への委員並びに評議員の派遣及び検討作業への協力
- ・電気用品調査委員会電波雑音部会への委員派遣及び検討作業への協力
- ・電気用品認証協議会広報専門部会への委員派遣及び検討作業への協力

(2) AMの機能性向上に関する事業 (AM技術部会)

電気用品安全法の技術基準が改正され、従来、国により規定されていた材料の規格、数値、計算式などの詳細については、近年の国際的な傾向に合わせ、民間が整備するJIS規格等の公的規格に委ねられることとなった。

これを受け、前年度に引き続き、アミューズメント機器関連のJIS規格を最新の国際規格に整合させるための改訂作業を実施した。

3. AM産業に関する情報の収集・提供及び展示会・講習会・研究会等の事業

(1) アミューズメント文化の振興 (業界プロモーション活動)

(調査情報部会-広報委員会)

アミューズメントマシンが提供する余暇活動の楽しさや、健全性、文化性を周知させることを目的として、一般消費者に向け協会のホームページを活用して、各種の情報の提供を行った。

「景品表示マーク制度」に関する啓蒙コンテンツ及び「実態調査報告書」の抜粋データをコンテンツとして加え、アミューズメント産業への理解の促進を図る活動を行った。

(2) AM産業に関する情報の収集及び提供 (調査情報部会)

①協会入手資料の提供

協会が行政機関等から入手した資料のうち、会員企業の事業活動に役立つと思われる各種の情報を、郵送やメール等により会員に配布した。

②中小企業セーフティーネット保証制度の業種指定

日本経済の低迷に伴い、業界を取りまく金融環境が厳しいことから、前年度に引き続き、経済産業省の「中小企業セーフティーネット保証制度」の業種指定を継続するため、会員へのアンケート調査を行ったうえで申請を行った。

業種指定は4半期ごとに更新されることから、平成26年度は3回の調査を行い、その結果、本保証制度の指定業種としてメーカー及びディストリビューターの2業種が認定された。

(3) アミューズメント文化及び業界に係る情報の発信（JAMMAジャーナル等による情報発信）（調査情報部会-広報委員会）

アミューズメントマシン業界の現状や動向を業界内外に伝えるため、ホームページにより情報を発信した。

ホームページの主なコンテンツは次の通り。

- ①協会概要（情報公開資料を含む）
- ②JAMMAジャーナル（業界及び協会内の行事、出来事の紹介）
- ③会員名簿（業界外からの会員検索の利便性向上を念頭に置いたレイアウトを採用）
- ④JAMMA資料集（消費者に安心安全な機械を提供するためのJAMMAが定める機械基準やガイドライン等の紹介）
- ⑤会員及び関係団体リンク集
- ⑥業界トピック（統計調査データや業界情報の紹介）
- ⑦事務局ブログ（スピーディーな情報共有の実現）

なお、「JAMMAジャーナル」は平成26年4月・5月・7月・10月
平成27年1月・3月の計6回更新した。（URL=<http://www.jamma.or.jp>）

(4) 展示会の開催＜AOUとの共同開催＞（展示会事業部会）

平成27年2月13日・14日の2日間、幕張メッセにおいて、一般社団法人 全日本アミューズメント施設営業者協会連合会（AOU）との共同主催により、「ジャパン アミューズメント エキスポ 2015（JAEPO 2015）」を開催した。

今回は、海外企業3社を含む41社600小間の出展を得て、好天にも恵まれて前年度を大きく上回る20,604名もの来場者があった。

また会期初日の夜には、東京プリンスホテルにおいてJAEPO2015懇親パーティーを開催し、国会議員やIAAPA幹部など多数の来賓も含め330名の参加者があり盛大に開催することができた。

(5) 関連法令、協会自主基準等に関する講習会の実施（調査情報部会）

ジャパン アミューズメント エキスポ 2015開催時に、日頃店舗で使用されるAM機器のメンテナンスのコツをメーカー担当者が直接解説する「JAMMAメンテナンス講座」を開催した。

期日：2月14日（金）

会場：幕張メッセ国際会議場101号室

講座：①ヒーローバンクアーケード/えーでるすなば

（解説：株式会社セガ/株式会社セガ・ロジスティクスサービス）

②太鼓の達人（解説：株式会社バンダイナムコゲームス）

(6) アミューズメント文化の海外への情報提供等（海外市場の拡大に向けた取り組み）（国際部会）

世界をリードする当業界のコンテンツを擁して、より積極的に海外市場の拡大を図るため、国際部会では会員の海外展開支援に向けた取り組みとして経済産業省やJETRO等から新興国をはじめとする海外市場の動向及び海外展開に関する諸情報を入手した。

また、海外市場視察事業により得られた情報をホームページで公開し、会員のみならず広く一般に提供している。

①GTI ASIA CHINA EXPO 参観(中国) 平成 26 年 8 月 22 日－24 日

視察先：GTI ASIA CHINA EXPO（広州市）

②第 8 回 S C 施設事業部会（米国） 平成 26 年 11 月 18 日－24 日

視察先：IAAPA 及び市場動向調査（オーランド、ロサンゼルス）

(7) 遊園施設に関する安全対策の調査研究と安全講習会

（遊園技術・安全部会-技術委員会）

遊園地等において日常の遊戯施設の安全な維持保全対策の一助として、遊戯施設の管理者から係員までを対象として、昭和 56 年から遊戯施設の安全管理のテーマを中心とした「遊戯施設安全管理講習会」を、東京と大阪において交互に毎年開催している。平成 26 年度は、技術委員会での検討を踏まえ、下記により東京で開催した。

- ・講習会名：平成 26 年度遊戯施設安全管理講習会
- ・開催日時：平成 26 年 12 月 1 日（月）
- ・開催場所：家の光会館（東京都新宿区市谷船河原町 1 1）
- ・対象者：遊戯施設の運行管理者、運転者及び技術者など
- ・講習科目： ①遊戯施設の基礎知識
②維持保全計画と運行管理
③遊戯施設の技術概論
- ・受講者数：123 名
- ・主催：一般社団法人日本アミューズメントマシン協会
- ・後援：国土交通省、東京都
- ・協賛：（一財）日本建築設備・昇降機センター、東日本遊園地協会、西日本遊園地協会、日本ウォータースライド安全協会、一般社団法人東京都昇降機安全協議会

(8) 遊園施設に関する情報収集及び提供 (遊園企画部会)

関係法令の改正に係る解説や定期検査報告台数の集計・分析、遊戯施設関係の事故情報等について会員を中心に情報提供をした。

(9) S C遊園施設に関する情報収集及び提供 (S C部会)

S C部会では、S C遊園施設が提供するサービスの一層の向上を図るため、先進的な商業施設や付随するS C遊園施設の視察を行うと共に、会員間の情報交換を行っている。

平成26年度に実施した活動は次の通り。

- ①第9回S C施設事業部会 平成26年12月18日、19日
S C内A M施設及び商業施設の視察(千葉・木更津)
- ②第10回S C施設事業部会 平成26年2月13日
平成27年度事業計画の検討及び情報交換(幕張メッセ)

4. A M産業に関する内外関係機関との交流事業

(1) 国内関係団体との交流

- ①(財)デジタルコンテンツ協会の諸事業活動において、評議員として運営に協力した。
- ②(社)日本電気協会の電気用品調査委員会及び電気用品部品・材料認証協議会に委員を派遣し、技術的事項については、技術部会での検討を踏まえ答申する等、国の基準改正作業に協力した。
- ③電気製品認証協議会の幹事会・広報専門部会の諸事業活動において委員として運営に協力した。
- ④文化庁が、平成26年度の文化財アーカイブ事業として業務用ビデオゲーム機器のアーカイブ化を開始したのに伴い、企画及び資料の収集に協力した。

(2) 海外の業界団体との交流 (国際部会)

- ①米国(AAMA・AMOA・IAAPA)・英国(BACTA)の他、韓国・香港及び台湾のアミューズメント業界団体との親善交流に向け、定期的な情報交換を行うための具体案について検討した。
- ②平成26年7月に中国文化部が主催して上海で開催された「第10回中国国際アニメ・ゲーム博覧会(Fantasy China 2014)」を後援し、中国における市場開拓に協力した。
- ③平成26年11月に米国IAAPAエキスポに訪問し、マリオ・マモン会

長ほか協会首脳への表敬訪問を行った。その際、訪米団長の梶副会長から里見会長からの親書を手交した。

- ④平成27年2月のJAEPO2015開催に合わせ来日した、IAAPAの訪日代表団の表敬訪問を受け、里見会長がマリオ・ラモン前会長等との会談を行った。

(3) 遊園施設に関する国内・海外関係団体との交流

(遊園企画部会/遊園技術・安全部会-技術委員会)

平成26年度における国内の関係官庁及び関係団体との交流は次のとおり。海外の関係団体とは、例年通り業界紙等を通じて情報の交換をした。

①国土交通省関係

◎建築基準整備促進事業 遊戯施設の安全装置の要求性能等に関する調査委員会

◎平成26年度専門課程建築指導/昇降機等安全・事故対策研修

②(一財)日本建築設備・昇降機センター関係

◎理事会

◎昇降機検査資格者講習運営委員会

◎昇降機検査資格者講習・講師

◎遊戯施設の運行管理者・運転者等講習会・講師

◎「建築設備&昇降機」編集委員会

③(一社)東京都昇降機安全協議会関係

◎理事会

◎「協議会便り」編集委員会

④(財)埼玉県建築住宅安全協会関係

◎理事会

⑤(一社)近畿ブロック昇降機等検査協議会関係

◎社員総会

◎理事会

◎予算委員会

◎決算役員会及び会計監査

◎遊戯施設技術委員会

◎平成26年度技術委員研修会

◎第40回昇降機等定期検査業務打合せ会議

◎平成26年度昇降機検査資格者地域講習会・講師

⑥(一社)中部ブロック昇降機等検査協議会関係

◎理事会

- ◎三重県 平成 26 年度遊戯施設の安全対策会議
- ⑦(一社)北関東ブロック昇降機等検査協議会関係
 - ◎社員総会・理事会
- ⑧(一財)日本規格協会関係
 - ◎「ISO/IEC ガイド 50-子どもの安全指針」JIS 原案作成委員会

5. AMに関する登録事業

(1) AMの表示マーク制度 (倫理部会-倫理審査委員会)

倫理部会(部会長:山下 滋)は、AM機械の健全性を確認し、アピールするための表示マーク制度を「健全化を阻害する機械基準」に基づいて実施した。この中で、7号営業で使用された遊技機を8号メダルゲーム機に転用する際の規定が適切に運用されているかを確認するための機械実査を、前年に引き続き実施した。

本基準に基づく、平成26年度の一般メダルゲーム機の登録件数は80件で、表示マーク発行枚数は13,224枚であった。

また、7号転用メダルゲーム機の登録件数は1,532件、表示マーク発行枚数は9,988枚であった。

登録件数の合計が1,612件(前年度2,422件)、表示マークの発行枚数は23,212枚(前年度33,720枚)となった。

(2) 適正な景品の表示マーク制度 (AMプライズ部会)

AMプライズ部会(部会長:佐藤隼夫)は、適正なAMプライズの普及を図るため、ガイドラインに適合する専用景品であること表示マーク制度を実施している。

本制度に基づいて、平成26年度にマーク表示を実施した会員は7社であった。

(3) 遊戯施設に関する定期検査報告 (遊園技術・安全部会-技術委員会)

建築基準法第12条第3項の規定に基づく平成26年度の遊戯施設の定期検査報告書取扱台数は1,146台であり、前年の25年度の取扱台数が1,191台に対して45台減となった。

また、技術委員会において検査資格者の検査業務の一助として「遊戯施設定期検査マニュアル(補足)」を作成し、配布した。

(4) 生産性向上設備投資促進税制に関する証明書の発行

平成26年1月の産業競争力強化法の施行に伴い、娯楽業用設備のうち遊

園地用設備等についての生産性向上設備投資促進税制に関する証明書発行事業を行ったが、その後、経済産業省の指導により、一部の機種に対して発行した証明書の回収作業を実施した。

6. 日本アミューズメント産業協会（J A I A）に係わる事業

(1) 風適法の規制緩和に向けた取り組み

アミューズメント業界の各種規制に関する適正化に向けた取り組みを行うためJ A I Aに新設された「規制緩和特別委員会」を通して、（一社）全日本アミューズメント施設営業者協会連合会（A O U）との有機的な連携で、行政への規制緩和の要望に関する活動を行った。

(2) 「アミューズメントマシンに親しむゲームの日」のイベント開催

アミューズメント産業の文化性、先進性、健全性を広く一般社会にアピールを図るため、11月23日を「アミューズメントマシンに親しむゲームの日」と定め、この「ゲームの日」の前後に業界のP R、エンドユーザーへのアンケートの実施等の活動に関して協力を行った。

(3) アミューズメント業界の市場実態調査

アミューズメント産業界の実態について調査を行い、機械製造・流通販売・施設営業・ソフトの供給等の市場の実態を把握するとともに、アミューズメント産業・レジャー産業の調査研究を行った。平成26年度はその結果をまとめ「アミューズメント産業界の実態調査報告書」を発行した。

この報告書には、一般消費者に対するA M施設に関するアンケート調査である「ゲームセンター利用者調査」の実施結果も掲載している。

(4) アミューズメント業界への電子マネーシステムの導入に関する検討

施設営業者の事業活動の効率化を図るため、電子マネー等による料金決済システムの導入に向けた取り組みを行っているが、平成26年度においても会員企業の店舗でのマルチの電子マネーの実証実験の紹介、研究を行った。

(5) 新春賀詞交歓会

J A I Aが幹事となり、関係業界団体が共同で平成27年1月15日、東京ドームホテルにおいてアミューズメント産業新春賀詞交歓会を開催し、業界関係者約277名の出席があった。

7. 協会の事業及び経理監査

協会の事業及び経理について次の通り監事監査が行われ、いずれも適正であることが認められた。

第1回 実施日時：平成26年4月25日（金）14：00～17：00

実施場所：JAMMA会議室

出席監事：築瀬良司監事、臼井清監事

監査内容：①平成25年度収支決算

②貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録

③公益目的支出計画実施報告書

第2回 実施日時：平成26年11月27日（木）14：00～17：00

実施場所：JAMMA会議室

出席監事：吉川昌之監事、臼井清監事

監査内容：中間収支監査（平成26年10月31日締め）

8. 庶務的事項

(1) 定時総会

開催日時 平成26年5月23日（金）16：00～17：20

開催場所 ホテルオークラ東京「メイプルルームⅠ」

決議事項

第1号議案 平成25年度事業報告、決算報告、監査報告及び
収支差額処分案

第2号議案 平成26年度事業計画承認の件

第3号議案 任期満了に伴う役員選任の件

(2) 理事会

第11回理事会

開催日時 平成26年5月23日（金）15：30～15：50

開催場所 ホテルオークラ東京 メイプルルームⅡ

決議事項

第1号議案 会員の入会に関する件

第2号議案 AM機の適正処理ガイドラインに関する件

第3号議案 役員選任及び協会組織に関する件

報告事項

(1) 平成26年度定時総会に関する件

(2) 生産性設備投資促進税制に関する説明会について

(3) 年間スケジュールについて

第12回理事会

開催日時 平成26年5月23日(金) 17:20~17:30

開催場所 ホテルオークラ東京 メイプルルームII

決議事項

第1号議案 会長・副会長・専務理事の選定に関する件

第13回理事会

開催日時 平成26年9月4日(木) 16:00~17:00

開催場所 シェラトングランデオーシャンリゾート ヴィーナスルーム

決議事項

第1号議案 定款等の変更に関する件

第2号議案 AOUとの共同展示会に関する件

第3号議案 遊戯施設安全管理講習会の開催に関する件

第4号議案 その他

報告事項

(1) 事業執行状況の報告について

(2) 3Rセミナーの開催報告について

(3) SC事業部の海外ロケ視察について

(4) 生産性向上設備投資促進税制アミューズメント機器への
証明書発行業務の停止について

(5) アミューズメント産業界の実態調査の速報

(6) 27年度 経済産業政策の重点

(7) 年間スケジュールについて

第14回理事会

開催日時 平成26年12月3日(水) 16:00~17:15

開催場所 JAMMA大会議室

決議事項

第1号議案 27年度重点事業計画に関する件

第2号議案 定款の変更に関する件

第3号議案 既定の改正に関する件

報告事項

(1) 役員退任の報告

(2) 会員区分及び会費の見直しについて（特別諮問委員会）

(3) 各部会の活動報告

①遊園施設事業部会

②S C遊園事業部会

(4) ジャパンアミューズメントエキスポ2015

(5) 賀詞交歓会

(6) 年間スケジュール

第15回理事会

開催日時 平成27年3月27日（火）16:00～17:00

開催場所 JAMMA大会議室

決議事項

第1号議案 平成27年度の事業計画（案）に関する件

第2号議案 平成27年度の収支予算（案）に関する件

第3号議案 ジャパンアミューズメントエキスポに関する件

第4号議案 平成27年度定時総会の開催承認に関する件

第5号議案 就業規則の施行細則に関する件

報告事項

(1) 事業執行状況の報告について

(2) 中小企業向けセーフティネット保証制度の指定について

(3) 年間スケジュールについて

(3) 業務執行状況の報告

平成26年度の業務執行状況は次の通り。

①平成27年度予算策定業務（予算委員会）

第3回予算委員会

平成27年3月6日開催

②A O Uとの共同展示会開催業務（ショー協議会・実行委員会）

J A E P O協議会

平成26年4月15日開催

第1回実行委員会

平成26年8月1日開催

第1回出展品担当分科会

平成26年7月15日開催

第1回広報宣伝分科会

平成26年8月21日開催

メインビジュアル検討会

平成26年9月12日開催

第2回実行委員会

平成26年9月19日開催

第1回広報宣伝分科会

平成26年10月17日開催

第3回実行委員会

平成26年10月27日開催

第2回広報宣伝分科会

平成26年11月5日開催

出展社説明会

平成26年11月5日開催

第4回実行委員会

平成26年12月11日開催

- | | |
|----------------|---------------|
| 第1回主催者事業分科会 | 平成26年12月16日開催 |
| 第2回主催者事業分科会 | 平成27年1月9日開催 |
| 第3回広報宣伝分科会 | 平成27年1月29日開催 |
| 出展品書類審査会 | 平成27年2月4日開催 |
| 第5回実行委員会(会場検査) | 平成27年2月12日開催 |
| 第6回実行委員会 | 平成27年3月17日開催 |
- ③ AOUとの共同展示会開催業務(協議会・実行委員会)
 ジャパンアミューズメントエキスポ2015 平成27年2月13日～
 2月14日開催
- ④ AOUとの共同展示会懇親パーティー開催業務(実行委員会)
 JAEPO2014懇親パーティー 平成27年2月13日開催
- ⑤ 規制の適正化に向けた調査研究(JAIA、AOUとの共同事業)
- | | |
|---------------|--------------|
| JAIA分科会 | 平成26年4月1日開催 |
| JAIA分科会 | 平成26年7月16日開催 |
| 規正緩和ワーキンググループ | 平成26年10月7日開催 |
| 規正緩和ワーキンググループ | 平成27年1月26日開催 |
| 規正緩和ワーキンググループ | 平成27年3月9日開催 |
- ⑥ 電子マネーシステムの構築に関する調査研究事業(ITネットワーク特別委員会)
 JAIA技術委員会との合同委員会
 第26回合同委員会 平成27年2月5日開催
- ⑦ 景品提供営業のあり方に関する調査研究業務(AMプライズ部会)
- | | |
|-----------------------|--------------|
| 書面審議(プライズマーク告知Web策定) | 平成26年8月20日実施 |
| ネットワーク経由プライズ機に関する情報収集 | 平成26年12月1日開催 |
| AMプライズマーク啓蒙コンテンツ公開 | 平成27年3月13日 |
- <http://www.jamma.or.jp/reference/amprizemark.php>
- ⑧ 景品提供営業適正化に向けた啓蒙活動
- | | |
|--------------------|--------------|
| 第6回AMプライズ部会 | 平成26年7月29日開催 |
| 書面審議(適正営業パンフレット策定) | 平成26年7月31日実施 |
- 平成26年4月から施行された「景品提供営業ガイドライン」を業界内に啓蒙するため、オペレーター・ディストリビューターに向けた「適正営業パンフレット」を作成し、メーカーを通じて配布を開始した。
- ⑨ AMリサイクルシステム構築に関する調査研究(3R部会)
 3Rセミナー「AM機の適正処理・リサイクルのルール～基本編～」
 平成26年7月28日開催
- ⑩ AM表示マーク制度の実施(倫理部会)
- | | |
|-------------------------|---------------|
| メダルゲーム機の登録及び表示マークの発行 | 80件 13,224枚 |
| 7号転用メダルゲーム機の登録及び表示マーク発行 | 1,532件 9,988枚 |

⑪ AM機械の健全化・啓蒙に関する調査研究事業（倫理部会）

メダルゲーム機に関する問合対応	平成 26 年 7 月 15 日
メダルゲーム機に関する問合対応	平成 26 年 7 月 29 日
製品の開発に関する問合対応	平成 26 年 8 月 1 日
製品の開発に関する問合対応	平成 26 年 8 月 7 日
会員新製品に対する内容確認	平成 26 年 9 月 8 日実施
会員のメダルゲーム運営に対する確認	平成 26 年 11 月 4 日実施
7号転用機の権利許諾に関する打合せ	平成 26 年 11 月 6 日実施
会員新製品に対する実機確認検査	平成 26 年 11 月 7 日実施
会員のメダルゲーム運営に対する確認	平成 26 年 12 月 2 日実施
会員のメダルゲーム運営に対する確認	平成 26 年 12 月 15 日実施
会員の 7 号転用機に関する内容確認	平成 26 年 12 月 25 日実施
会員のメダルゲーム運営に対する確認	平成 26 年 12 月 26 日実施
会員のメダルゲーム運営に対する確認	平成 27 年 1 月 6 日実施
会員新製品に対する内容確認	平成 27 年 1 月 27 日実施

⑫ アミューズメント文化の海外への情報提供に関する活動（国際部会）

a. 国際部会正副会長会議 平成 26 年 7 月 7 日開催

b. 広州 GTI EXPO の参観

平成 26 年 8 月 22 日～24 日に中国広州で開催された「GTI ASIA CHINA EXPO」を訪問し、中国の市場動向について情報収集するとともに、華立・世宇にジャパン・アミューズメント・エキスポ 2015 への出展を依頼。

c. 米国 I A A P A への表敬訪問 平成 26 年 11 月 20 日開催

d. 米国 I A A P A 前会長の表敬対応 平成 27 年 2 月 13 日開催

⑬ AM産業に関する情報の収集提供事業（調査情報部会）

文化庁ゲーム分野アーカイブ委員会	平成 26 年 9 月 9 日開催
文化庁ゲーム分野アーカイブ委員会	平成 26 年 11 月 7 日開催
文化庁ゲーム分野アーカイブへの協力	計 11 回に亘り情報提供
文化庁ゲーム分野アーカイブ委員会	平成 27 年 2 月 18 日開催
実態調査報告書に関するコンテンツ公開	平成 27 年 3 月 16 日
文化庁アーカイブ データベース公開	平成 27 年 3 月 17 日

<http://www.mediaarts-db.jp>

⑭ 遊園施設事業部に関する全般的な課題の審議と承認業務（遊園企画部会）

第 5 回遊園企画部会 平成 26 年 8 月 1 日開催

平成 26 年度遊園施設事業部会（懇談会） 平成 26 年 10 月 09 日開催

第 6 回遊園企画部会 平成 27 年 1 月 15 日開催

⑮ 遊園施設の安全に関する技術的な課題検討業務（遊園技術・安全部会）

- 第 98 回技術委員会 平成 26 年 5 月 9 日開催
 第 99 回技術委員会 平成 26 年 6 月 27 日開催
 第 100 回技術委員会 平成 26 年 12 月 17 日開催
- ⑯遊園施設の安全な運行管理の啓蒙や従業員の指導・教育業務
 (遊園技術・安全部会)
 平成 26 年度遊戯施設安全管理講習会 平成 26 年 12 月 1 日開催
- ⑰関係官庁及び関係団体との連携業務(遊園施設事業部)
 <関係団体との連携状況：遊園施設事業部では、各種の委員会に出席>
- a. 国土交通省関係
 建築基準整備促進事業「遊戯施設の安全装置の要求性能に関する調査」
 調査委員会(協会より、福原技術副委員長、山野技術委員が出席)
- 第 1 回委員会 平成 26 年 8 月 22 日開催
 第 2 回委員会 平成 26 年 12 月 5 日開催
 第 3 回委員会 平成 27 年 2 月 27 日開催
 第 1 回ワーキング 平成 26 年 9 月 26 日開催
 第 2 回ワーキング 平成 26 年 10 月 17 日開催
 第 3 回ワーキング 平成 26 年 11 月 10 日開催
 第 4 回ワーキング 平成 27 年 1 月 13 日開催
 情報交流会 平成 27 年 2 月 17 日開催
- 平成 26 年度専門課程建築指導/昇降機等安全・事故対策研修
 ・講師 平成 26 年 12 月 8 日
- b. (一財)日本建築設備・昇降機センター関係
 (協会より、中川副会長、金田前技術委員長、福原技術副委員長、
 森田技術委員、酒井部長が出席)
- 第 1 回理事会 平成 26 年 5 月 23 日開催
 第 2 回理事会 平成 27 年 3 月 20 日開催
- 昇降機検査資格者講習運営委員会
 第 1 回委員会 平成 26 年 4 月 14 日開催
 第 2 回委員会 平成 26 年 12 月 11 日開催
- 昇降機検査資格者講習
 ・大阪一次 平成 26 年 10 月 02 日開催
 ・大阪二次 平成 26 年 11 月 20 日開催
- 遊戯施設の運行管理者・運転者講習会
 ・東京会場 平成 26 年 4 月 22 日開催
 ・大阪会場 平成 26 年 4 月 24 日開催
- 「建築設備&昇降機」編集委員会
 第 112 回委員会 平成 26 年 5 月 27 日開催

- | | |
|--|---------------------|
| 第 113 回委員会 | 平成 26 年 7 月 28 日開催 |
| 第 114 回委員会 | 平成 26 年 9 月 19 日開催 |
| 第 115 回委員会 | 平成 26 年 11 月 20 日開催 |
| 第 116 回委員会 | 平成 27 年 1 月 20 日開催 |
| 第 117 回委員会 | 平成 27 年 3 月 24 日開催 |
| c. (一社) 東京都昇降機安全協議会関係 | |
| (協会より、中川副会長、酒井部長が出席) | |
| 理事会 (第 24・25 回) | 平成 26 年 6 月 12 日開催 |
| 理事会 (第 26 回) | 平成 27 年 3 月 11 日開催 |
| 「協議会便り」編集委員会 | |
| 第 1 回委員会 | 平成 26 年 5 月 13 日開催 |
| 第 2 回委員会 | 平成 26 年 7 月 10 日開催 |
| 第 3 回委員会 | 平成 26 年 8 月 29 日開催 |
| 第 4 回委員会 | 平成 26 年 10 月 24 日開催 |
| 第 5 回委員会 | 平成 26 年 12 月 8 日開催 |
| 第 6 回委員会 | 平成 27 年 1 月 28 日開催 |
| 第 7 回委員会 | 平成 27 年 3 月 23 日開催 |
| d. (一財) 埼玉県建築安全協会関係 | |
| (協会より、酒井部長が出席) | |
| 第 1 回理事会 | 平成 26 年 5 月 13 日開催 |
| 第 2 回理事会 | 平成 26 年 8 月 6 日開催 |
| 第 3 回理事会 | 平成 26 年 10 月 29 日開催 |
| 第 4 回理事会 | 平成 27 年 3 月 6 日開催 |
| e. (一社) 近畿ブロック昇降機等検査協議会関係 | |
| (協会より、江部一昭氏 (三精)、藤井技術副委員長、福原技術副委員長、森田技術委員、酒井部長が出席) | |
| 第 7 回社員総会 | 平成 26 年 5 月 15 日開催 |
| 第 33 回理事会 | 平成 26 年 5 月 15 日開催 |
| 第 34 回理事会 | 平成 26 年 7 月 25 日開催 |
| 第 35 回理事会 | 平成 26 年 10 月 30 日開催 |
| 第 36 回理事会 | 平成 26 年 12 月 18 日開催 |
| 第 37 回理事会 | 平成 27 年 3 月 12 日開催 |
| 予算委員会 | 平成 27 年 3 月 4 日開催 |
| 決算委員会及び会計監査 | 平成 26 年 5 月 8 日開催 |
| 第 62 回遊戯施設技術委員会 | 平成 26 年 5 月 9 日開催 |
| 第 63 回遊戯施設技術委員会 | 平成 26 年 6 月 27 日開催 |
| 第 64 回遊戯施設技術委員会 | 平成 26 年 12 月 17 日開催 |

- | | |
|---|---------------------|
| 平成 26 年度技術委員研修会 | 平成 26 年 10 月 16 日開催 |
| 第 40 回昇降機等定期検査業務打合せ会議 | 平成 26 年 7 月 25 日開催 |
| 平成 26 年度昇降機検査資格者地域講習会・講師 | |
| ・ 第 1 回 | 平成 26 年 9 月 3 日開催 |
| ・ 第 2 回 | 平成 26 年 9 月 12 日開催 |
| f. (一社) 中部ブロック昇降機等検査協議会関係 | |
| (協会より、酒井部長が出席) | |
| 第 1 回理事会 | 平成 26 年 5 月 20 日開催 |
| 第 2 回理事会 | 平成 26 年 10 月 21 日開催 |
| 第 3 回理事会 | 平成 27 年 3 月 19 日開催 |
| 三重県平成 26 年度遊戯施設の安全対策会議 | 平成 26 年 7 月 4 日開催 |
| g. (一社) 北関東ブロック昇降機等検査協議会関係 | |
| (協会より、酒井部長が出席) | |
| 第 6 回社員総会 | 平成 26 年 6 月 18 日開催 |
| 第 7 回社員総会 | 平成 26 年 10 月 16 日開催 |
| h. (一財) 日本規格協会関係 | |
| (協会より、酒井部長が出席) | |
| 「ISO/IEC が 1 つ 50—子どもの安全の指針」JIS 原案作成委員会 | |
| 第 1 回委員会 | 平成 26 年 12 月 10 日開催 |
| 第 2 回委員会 | 平成 27 年 2 月 12 日開催 |
| ⑱ 7 号転用メダルゲーム機の実査実施 (倫理審査委員会) | |
| 第 390 回倫理審査委員会 | 平成 26 年 4 月 2 日開催 |
| 第 391 回倫理審査委員会 | 平成 26 年 5 月 2 日開催 |
| 第 392 回倫理審査委員会 | 平成 26 年 5 月 29 日開催 |
| 第 393 回倫理審査委員会 | 平成 26 年 6 月 11 日開催 |
| 第 394 回倫理審査委員会 | 平成 26 年 6 月 11 日開催 |
| 第 395 回倫理審査委員会 | 平成 26 年 6 月 19 日開催 |
| 第 396 回倫理審査委員会 | 平成 26 年 7 月 17 日開催 |
| 第 397 回倫理審査委員会 | 平成 26 年 7 月 17 日開催 |
| 第 398 回倫理審査委員会 | 平成 26 年 8 月 26 日開催 |
| 第 399 回倫理審査委員会 | 平成 26 年 8 月 26 日開催 |
| 第 400 回倫理審査委員会 | 平成 26 年 9 月 17 日開催 |
| 第 401 回倫理審査委員会 | 平成 26 年 10 月 2 日開催 |
| 第 402 回倫理審査委員会 | 平成 26 年 10 月 2 日開催 |
| 第 403 回倫理審査委員会 | 平成 26 年 10 月 6 日開催 |
| 第 404 回倫理審査委員会 | 平成 26 年 10 月 21 日開催 |
| 第 405 回倫理審査委員会 | 平成 26 年 10 月 21 日開催 |

第 406 回倫理審査委員会	平成 26 年 11 月 28 日開催
第 407 回倫理審査委員会	平成 26 年 11 月 28 日開催
第 408 回倫理審査委員会	平成 27 年 1 月 9 日開催
第 409 回倫理審査委員会	平成 27 年 1 月 9 日開催
第 410 回倫理審査委員会	平成 27 年 2 月 4 日開催

⑱ S C 施設に関する情報収集及び提供事業（S C 施設事業部）

平成 26 年 7 月 10 日から 2 日間、S C 事業部会員から計 41 名の参加を得て山形県天童市の S C 施設・施設内 A M 施設の視察を行うべく準備をしたものの、台風 8 号の影響による東北地方の大雨により山形新幹線が不通となったため事業を中止した。

第 8 回 S C 施設事業部会 平成 26 年 11 月 18 日－24 日
I A A P A 視察及び米国 A M 業界動向調査（オーランド、ロス）

第 9 回 S C 施設事業部会 平成 26 年 12 月 18 日－19 日
S C 内 A M 施設及び商業施設の視察（千葉木更津）

第 10 回 S C 施設事業部会 平成 27 年 2 月 13 日
平成 27 年度事業計画の検討及び情報交換（幕張メッセ）

⑳ 産業競争力強化法生産性向上設備投資減税対象設備への仕様証明発行

生産性向上設備投資促進税制に関する説明会 平成 26 年 4 月 25 日開催
証明書の発行（平成 26 年 2 月－平成 27 年 3 月）16 機種 139 枚

なお、経済産業省の指導により、一部の機種に対して発行された証明書の回収作業を実施した。

㉑ アミューズメント産業の振興に関する調査研究

第 8 回広報委員会 平成 26 年 10 月 17 日開催
文化庁データベースに関する書面審議 平成 27 年 3 月 2 日実施
他、J A M M A ホームページの更新を適宜行い、情報発信に努めた。

㉒ セーフティーネット 5 号保証の業種指定に向けた情報収集提供

業種指定に向けて申請を行った結果、平成 26 年 12 月 9 日に平成 26 年度第 4 四半期分及び平成 27 年 3 月 26 日に平成 27 年度第 1 四半期分について A M メーカー及びディストリビューターの業種指定が認められた。

㉓ 平成 26 年 7 月 10 日～14 日、中国上海で開催された「第 10 回中国 CCG EXPO」（主催：中華人民共和国文化部、上海市人民政府）に協会として後援した。

2. その他

<海外関連>

- ・米国業界団体 I A A P A 会長 表敬訪問 平成 26 年 11 月 20 日
- ・米国業界団体 I A A P A 前会長 表敬対応 平成 27 年 2 月 13 日

<J A I A 関連>

- ・ J A I A 発行「アミューズメント産業界の実態調査」への協力
 - 実態調査報告書編集会議 平成 26 年 6 月 13 日開催
 - 実態調査報告書編集会議 平成 26 年 7 月 23 日開催
 - 実態調査報告書編集会議 平成 26 年 7 月 31 日開催
 - 実態調査報告書編集会議 平成 26 年 8 月 6 日開催
 - ・ J A I A 主催「ゲームの日」実施に向けた企画協力
 - JAIA 広報委員会 (AOU 店舗活性化推進委員会委託) 平成 26 年 7 月 9 日開催
 - JAIA 広報委員会 (AOU 店舗活性化推進委員会委託) 平成 26 年 8 月 29 日開催
 - ・ 「新春賀詞交歓会」開催に関する運営協力 平成 27 年 1 月 15 日実施
 - ・ J A I A 主管「AM 産業界の実態調査」に関する協力
 - J A I A 統計調査特別委員会小委員会 平成 26 年 10 月 14 日開催
 - 「実態調査報告書 (平成 25 年度版)」発表 平成 26 年 10 月 15 日開催
 - J A I A 統計調査特別委員会小委員会 平成 26 年 11 月 18 日開催
- <その他>
- ・ デジタルコンテンツ協会発行「コンテンツ白書」への編集協力
 - 平成 26 年 8 月 7 日
 - ・ K A D O K A W A 発行「ファミ通白書」への編集協力
 - 平成 26 年 4 月 16 日
 - 平成 26 年 8 月 20 日

(4) 会員の異動

	期首会員数	入会数	退会数	期末会員数
正 会 員	8 7	1	6	8 2
賛助会員	3 2	0	3	2 9

入会会員名

正会員 株式会社ジー・ピー・エー・コーポレーション
 賛助会員 なし

平成 26 年度事業報告 附属明細書

平成 26 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、存在しないので作成しない。

平成 27 年 5 月

一般社団法人 日本アミューズメントマシン協会